

地域人材の育成・定着を目的とする産学官連携プラットフォーム構築に向けた協議会
議事要旨

1. 日時

平成30年 9月25日（火）10時00分～10時45分

2. 場所

前橋市役所4階 庁議室

3. 出席者

資料1のとおり

※代理 前橋商工会議所（(株)群馬銀行 専務取締役）深井氏 代理 地方創生室長 岡庭氏

欠席 前橋商工会議所（(学)有坂中央学園 理事長）中島氏

4. 議事要旨

(1) 開会

(2) 各界代表あいさつ

(事務局)

本協議会は、産業界、教育界、行政が共通して抱える「地域人材の育成・定着」という課題に対し、お互いの強みや経営資源を持ち寄りながら取り組もうとする枠組みであり、地域の総意として、本日設立をお諮りするものです。開会にあたりまして、本協議会の発起人である各界代表者の皆様より、ご挨拶をいただきたいと思っております。はじめに、行政、また地域の代表として、山本前橋市長、よろしく申し上げます。

(山本市長)

本日、産業界を代表する皆様と教育界を代表する皆様にお集まりをいただき、この協議会の第1歩が踏み出せること、私も嬉しく思っております。産業界には産業界としての希望とそれを阻害する悩みがある、教育にも同じように希望と悩みがある。それは市民も同じです。それらを叶えるのが我々行政の責任だろうと考えております。本日の会議が実りあるものになり、そして前橋の市民、いや日本の人たちが、この前橋モデルを通じて、人生を追い求める職業人として巣立っていける、そのお力添えをどうぞよろしくお願いいたします。

(事務局)

続きまして、産業界を代表し、前橋商工会議所 曾我会頭様、よろしくお願いいたします。

(前橋商工会議所 曾我会頭)

本日は行政、産業界、教育界の方々にお集まりいただき、こういう形でプラットフォームの構築に向けたスタートが切れるということ、大変ありがたいことと心から感謝申し上げます。教育の力は、まちを良くすることに、さらには産業力を強めることに、そして市民の豊かな生活をつくることの基盤となるものと考えております。そのためにも、前橋にある6つの大学が力を合わせて、こういう形で取り組んでくれることに対して、心より感謝を申し上げます、これが大きな実を結ぶことを期待しております。

(事務局)

ありがとうございます。最後に、教育界を代表し、共愛学園前橋国際大学 大森学長様、よろしくお願いいたします。

(共愛学園前橋国際大学 大森学長)

本日は、この素晴らしい機会に参画をさせていただき、心より感謝を申し上げます。山本市長をはじめ、市役所の皆さまには、これから基盤を作っていく、その基盤を作っていたというところがございます。また、曾我会頭はじめ産業界の皆様、商工会議所の皆様とご一緒ということで、力強く、心強く感じているところがございます。また、教育界代表ということではありますが、今日は、前橋6大学の理事長・学長の皆様にお揃いをいただきました。先生方皆様が前向きに、よしやろう、と言っていたこと、大変心強く、これが前橋の強みだなと感じたところがございます。

これから、大学を取り巻く環境は予測ができない状況になっていきますけれども、地域の大学がタッグを組みながら、そして産業界の皆様、行政の皆様と力を携えながら様々な取組をしていくという時代に入っていき、そのスタートを切れることを、大変嬉しく思っております。我々大学界も前橋のため、そして大学自身が活性化をしていく、これも地域にとって非常に重要な役目だと思っておりますので、そのことも踏まえて、しっかりと取り組んでまいりたいと考えております。

(3) 出席者紹介

(4) 概要説明

(5) 議事

(山本市長)

議事を進行いたします。本日の議事である会則の制定について、事務局より説明をお願いします。

(事務局説明)

本日の審議事項につきまして、発起人である各界代表者様で事前に話し合いをした内容に沿ってご説明をさせていただきます。まず、「第1条名称」につきましては、「めぶく。プラットフォーム前橋（地域人材の育成・定着に向けた産学官連携基盤推進協議会）」とさせていただければと考えております。次に、「第5条役員を選出」につきましては、副会長となる教育界の代表者には、共愛学園前橋国際大学の学長様をお願いしたいと考えております。また、「第11条運営委員会の委員長・副委員長選出」につきましては、委員長には、同じく共愛学園前橋国際大学の学長様、副委員長には、前橋商工会議所常議員で株式会社ヤマト代表取締役会長の新井様、前橋工科大学の宮下理事長様にそれぞれお願いしたいと考えております。なお、第1条の名称につきましては、発起人の1人であり、共愛学園前橋国際大学の学長より補足説明をお願いいたします。

(共愛学園前橋国際大学 大森学長)

事務局からお話がありましたとおり、この会に先立ちまして、発起人の三者において提案の原案を考えさせていただきました。本件に関しましては、随分と前から市長ともディスカッションをさせていただいておりますし、曾我会頭からも色々な想いをお聞かせいただいたところでもあります。そして、私自身も、この前橋を元気にしたいという想いが強くありました。また、先日、市役所の中の関係課長会議に参加をさせていただきまして、その中でも色々なご意見をいただきましたが、なるべく分かりやすい名称が必要ではないかというご意見もいただきました。そういったことを勘案し、三者でいくつかの案を持ち寄って、実質的な議論を展開したところです。

最終的には、前橋のビジョン「めぶく。」とも親和性が高い取組であり、プラットフォームというのはまさに基盤ですので、その基盤から色々なものが生まれてくるということで、「め

ぶく。プラットフォーム前橋」とさせていただきます。ここから、様々な取組を芽吹かせ、様々な人材を芽吹かせていきたいという想いです。ただ、プラットフォームという言葉自体が、まだ市民の皆さんにとって馴染みのない言葉ですので、曾我会頭のご助言のもと、このプラットフォームを運営する協議会は「地域人材の育成・定着に向けた産学官連携基盤推進協議会」とさせていただきます。これらを合わせて、今回ご提案をさせていただきます。

(山本市長)

ありがとうございました。本件につきまして、ご質問・ご意見等ございましたら、ご発言をお願いいたします。特にご意見等ございませんので、本件につきまして、原案のとおりご承認いただけるものとしてよろしいでしょうか。⇒拍手

ありがとうございます。これから、皆さんとの協議の中で、色々なことを決めていければと考えております。それでは、議事を終了いたします。

(6) 今後の進め方：事務局説明後の意見交換

(群馬医療福祉大学 鈴木学長)

今回の取組において、是非、「社会人の学びなおし」についてご検討をいただきたいと考えています。特に、介護人材の育成については、全国的にも人材の確保・育成に苦慮している状況にあります。現在資格を持っている方、また、これから資格を取りたい方への支援等をご検討いただきたい。

(前橋商工会議所 曾我会頭)

将来の計画として、地域や産業界をリードする経営者層、リーダー層が改めて学べるような機会を作っていただきたいと考えております。

(共愛学園前橋国際大学 大森学長)

先ほど、推進委員会の委員長に選任されましたので、その立場でお答えいたします。各界でお持ちのニーズや必要性は様々にあるであろうと考えております。今後の第2回・第3回の会議の中で、さらにニーズを掘り起こしてまいりたいと考えております。社会人の学びなおしのテーマは部会が立ち上がることになると思いますが、その中で、経営者層の学びなおし、介護人材の学びなおしといったいくつかのプログラムを検討していくことになるものと考えております。

以上